

◎IFHA リリース(和訳)

(公財)競走馬理化学研究所が IFHA のリファレンスラボラトリーに暫定指定

2021 年 7 月 14 日

本日、国際競馬統括機関連盟 (IFHA) は、IFHA 執行協議会の承認を経て、競走馬理化学研究所 (競理研) を IFHA のリファレンスラボラトリーとして暫定的に指定したことをお知らせします。この承認は、リファレンスラボラトリー指定委員会 (RLAC) の監督下で行われた申請とリモート審査の結果によるものです。世界的な COVID-19 パンデミックによる渡航制限を受け、現地審査の代替手段としてリモート審査が行われました。したがって、現時点では競理研は暫定的な指定となっています。

IFHA のルイ・ロマネ会長は「競理研が IFHA リファレンスラボラトリーとして暫定的に指定されたことを祝福したいと思います。これは、競理研、RLAC、そして日本中央競馬会の多大な協力と努力の結晶です。RLAC によって任命された審査員は、競理研スタッフの科学的専門知識に非常に好意的な印象を持ち、審査が効率的に実施され、検体が細部に至るまで非常に注意を払われて分析されていることを確認しました」と述べました。

1965 年に設立された競理研は、国際的に認定された競馬ドーピング管理機関であり、主に尿、血液、毛などの馬の生体サンプルを用いて競馬や国際馬術競技に専門的な検査サービスを提供しています。また競理研は、日本で唯一の馬の薬物検査機関であり、その主な役割は、すべてのステークホルダーにとって公平な競走環境を確保するため、日本の競馬の公正性を維持することです。

競理研は、Racing Analytical Services Limited (オーストラリア)、Laboratoire Des Courses Hippiques (フランス)、LGC Group, Sport & Specialised Analytical Services (英国)、Hong Kong Jockey Club Racing Laboratory (香港)、Kenneth L. Maddy Equine Analytical Chemistry Laboratory, University of California at Davis (米国) とともに、IFHA リファレンスラボラトリーとして暫定的に指定されました。IFHA リファレンスラボラトリーは、申請プロセスの一環として、事業規模、資金調達、研究活動、主要ドーピング剤を含む禁止物質の使用を検出する能力などの基準を満たす必要があります。

2021 年 5 月に更新された IFHA リファレンスラボラトリー・ホワイトマニュアルは以

下リンク先をご参照ください。

<https://ifhaonline.org/default.asp?section=IABRW&area=13>

### IFHA とは

IFHA (International Federation of Horseracing Authorities) は、国際的なスポーツであるサラブレッド競馬の世界的な統括機関です。IFHA のメンバーは、サラブレッド競馬を開催する世界各国の競馬統括機関となっています。

また、IFHA の主な活動分野は以下の通りです。

- ・ 競馬と生産及び賭事に関する国際協約 (IABRW) の制定と改正
- ・ 馬と騎手の福祉と安全に関する方針の策定
- ・ 国際競走の企画と格付 (ブラックタイプ競走)
- ・ ワールドランキング
- ・ 馬の禁止物質及び行為への取り組み
- ・ 競走ルールの調和
- ・ IFHA リファレンスラボラトリーの指定
- ・ 競馬産業のグローバルな商業的発展の促進

IFHA は、国際馬術連盟 (FEI) とともに国際馬スポーツ連盟の設立メンバーでもあり、国際獣疫事務局 (OIE) にも加盟しています。

### 補足

競理研は、人の渡航制限が解除され次第、RLAC が任命した審査員による現地審査を受けることを条件に、暫定的な指定を受けました。競理研は、IFHA リファレンスラボラトリーのコンプライアンスおよび品質保証に関連するすべてのプログラムに参加する必要があります。